

ここで見られる植物：ハマヒルガオ（浜昼顔； *Calystegia soldanella*）

このヒルガオの仲間の匍匐性多年生植物は、海岸部を好み、砂浜や砂利の上を這っています。周囲の砂の中に根を張る白い地下茎は、時には他の植物や物と絡み合うこともあります。その葉は厚く、丸く、表面には光沢があります。5月や6月には、この植物の葉の根元から長い茎が現れ、その後、薄いピンクのじょうご形の花をつけます。ハマヒルガオの実は卵状球形で、熟すと黒色になる種を付けます。